

令和6年度 八幡浜市立八代中学校 【後期】 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和6年度 項目	R6前期 肯定率	R6後期 肯定率	比較	R6	R6	R6	R6前期 平均	R6後期 平均	比較	R6	R6	R6	分析	
						後期 1年	後期 2年	後期 3年				後期 1年	後期 2年	後期 3年		
【教育目標】	1 教師	本校の教育目標である『共に「学び 思いやり 鍛え」輝く』の実践に努めている。	100%	100%					3.5	3.3						
	2 教師	学校で生徒のよさや可能性が発揮され、一人一人が輝く場面をつくっている。	100%	100%					3.3	3.3						○運動会や文化祭等の学校行事を通して、生徒一人一人が前向きに活動し、個性を発揮する場面が多く見られた。今後は生徒の主体性を重視した教育活動の推進を心掛けたい。
	2 生徒	自分のよさや可能性が発揮でき、諸活動に前向きに取り組んでいる。	88%	87%		85%	86%	93%	3.2	3.2		3.1	3.2	3.4		
	2 保護者	学校ではお子さんのよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	85%	83%		87%	80%	81%	3.1	3.1		3.1	3.0	3.1		
	2 地域	生徒のよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	100%	100%					3.6	3.7						
3 教師	いじめ問題に対応し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%					3.5	3.4							
【家庭・地域との連携・協働】	3 生徒	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	91%	91%		83%	97%	96%	3.4	3.4		3.2	3.4	3.6	○定期的にアンケートや教育相談を実施し、早期発見、早期解決に努めている。 ○「差別をなくする強調月間」として、11月に重点的に人権・同和問題学習に取り組み、人権意識の向上に努めた。	
	3 保護者	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	91%	89%		86%	86%	95%	3.1	3.1		3.0	3.1	3.2		
	3 地域	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	91%	100%	↑				3.4	3.4						
	4 教師	保護者や地域の方が、行事やその他の教育活動に参加しやすいような工夫に努めている。	94%	88%					3.0	2.9						
【学年・学級活動】	4 保護者	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	88%	87%		85%	84%	93%	3.1	3.1		3.1	3.1	3.2	○引き続き、授業公開やホームページ、八中だよりや校長通信・生徒指導通信等を活用して学校の様子を発信していきたい。また、総合的な学習の時間の教育課程に地域から学ぶ活動をさらに取り入れるなどの工夫を試みたい。	
	4 地域	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	92%	100%					3.2	3.4						
	5 教師	教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるよう努めている。	82%	87%					3.2	3.4						
	5 保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	96%	93%		94%	94%	93%	3.4	3.4		3.4	3.4	3.4		
	5 地域	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	100%	100%					3.6	3.8						
	6 教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	76%	80%					3.1	3.1						
【学年・学級活動】	6 保護者	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	92%	87%		87%	90%	84%	3.2	3.1		3.1	3.2	3.1	○今後も教育活動に関する情報をホームページや連絡メール、通信を通して、教育活動への支援と理解をいただけるような発信を心掛けたい。 ○コロナ渦の影響で地域とのかかわりが少なくなっていたが、昨年度から地域に出かけたり、地域の方を招いたりしての活動が戻ってきている。地域から学ぶ教育活動の在り方を今後も検討したい。	
	6 地域	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	85%	100%	↑				3.3	3.5						
	7 生徒	学校生活が楽しい。	91%	89%		85%	86%	94%	3.4	3.4		3.3	3.3	3.6		
	7 保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	90%	89%		90%	86%	91%	3.3	3.4		3.4	3.3	3.4		
	7 地域	八代中の生徒は、元気に楽しそうに学校へ通っている。	92%	90%					3.4	3.1						
	8 教師	様々な活動で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合う生徒の育成に努めている。	82%	93%	↑				3.1	3.2						
	8 生徒	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	85%	87%		84%	86%	93%	3.3	3.3		3.2	3.2	3.5		
	8 保護者	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	87%	87%		88%	85%	87%	3.1	3.1		3.0	3.0	3.1		
	9 教師	生徒は時と場に応じたさわやかな挨拶をしている。	71%	69%					2.7	2.8						
	9 生徒	学校や地域で、時と場に応じてさわやかなあいさつをしている。	87%	89%		85%	88%	96%	3.3	3.3		3.3	3.3	3.5		
【学年・学級活動】	9 保護者	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	73%	71%		73%	63%	79%	2.8	2.8		2.8	2.7	3.0	○生徒、地域の評価は上がっているものの、教師、保護者の評価が低下している。 ○統合にあたり、地域の方々への恩返しとして、気持ちの良い挨拶を呼び掛けている。挨拶が苦手な生徒もせめて会釈はできるようにしたい。	
	9 地域	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	71%	80%	↑				3.0	2.9	↓					
	10 教師	自発的・自治的な学級活動や生徒会活動を推進している。	100%	100%					3.1	3.3	↑					
	10 生徒	学級活動や生徒会活動に自主的、積極的に取り組んでいる。	80%	78%		73%	77%	87%	3.2	3.2		3.1	3.0	3.5		

令和6年度 八幡浜市立八代中学校 【後期】 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和6年度 項目	R6前期 肯定率	R6後期 肯定率	比較	R6	R6	R6	R6前期 平均	R6後期 平均	比較	R6	R6	R6	分析
						後期 1年	後期 2年	後期 3年				後期 1年	後期 2年	後期 3年	
【教育活動】	11 教師	ふるさと教育やキャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	94%	88%					3.1	2.9					○キャリア教育の推進しつつ、生徒に一番近い私たち大人が働き方改革を進め、業務改善を図りつつ、子どもたちのロールモデルとなるのが大切だと考える。
	11 生徒	将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	84%	83%		75%	80%	96%	3.3	3.3		3.1	3.2	3.5	
	11 保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	66%	68%		62%	71%	74%	2.8	2.8		2.7	2.9	2.9	
	12 教師	思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	94%	93%					3.2	3.2					
	13 教師	特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	81%	87%					2.9	3.1					○ 該当学年との連絡が取れていないことがあったので、連携を取りあうようにしなければならない。
	14 教師	人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	94%	100%					3.4	3.3					○外部講師やゲストティーチャーを招き、多様な考えに触れる機会を作りたい。
【学力向上】	15 教師	基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	94%	100%					3.5	3.4					○評価は微増している。今後も、職員研修を通して、生徒の様子や理解力の応じた授業改善に努めていく。
	15 生徒	授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。	79%	79%		79%	72%	87%	3.1	3.2		3.1	3.1	3.3	○教師は努めているつもりでも、生徒の意識は横ばいであり、保護者の生徒を見る目は上昇傾向にも見えるが、十分でない。特に理解できていないと感じる2割の生徒に、実感を持たせていく必要を感じる。
	15 保護者	お子さんは、授業を通して、基礎的・基本的な内容が身に付いている。	57%	62%		56%	60%	71%	2.7	2.7		2.7	2.7	2.8	
	16 教師	生徒は自主学習に励んでいる。	56%	53%					2.5	2.5					○生徒の評価は微増している。自主学習ノートの在り方を見直している段階で、一律的な学習から、生徒が主体的に取り組む学習を目指している過程である。
	16 生徒	自主学習に励んでいる	71%	74%		60%	73%	94%	2.9	3.0		2.9	2.9	3.4	○生徒の評価と、教師・保護者の評価に差がみられる。生徒は7割できていると考えており、教師・保護者はまだ5割程度だと感じている。自主学習への意識の違いを合わせていく必要を感じる。
	16 保護者	お子さんは、自主学習に励んでいる	51%	52%		47%	47%	64%	2.5	2.6		2.5	2.5	2.7	
	17 教師	生徒は粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	63%	73%	↑				2.6	2.8					○評価は微増している。今後も、職員研修を通して、生徒の興味を引き付け意欲を高められるような授業改善に努めていく。
	17 生徒	粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	71%	74%		70%	63%	87%	3.0	3.0		3.0	2.9	3.3	
	17 保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	43%	47%		39%	50%	55%	2.4	2.5		2.4	2.5	2.7	
	18 教師	豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。	100%	88%	↓				3.1	3.0					○評価は低下している。2学期は、学校行事が多く、校内研修を設定しにくいのが現状である。
【生徒指導】	19 教師	生徒の安全対策に努めている。	100%	100%					3.5	3.6					○朝や放課後の登下校指導や長期休業中の校区巡視を行い、気になる生徒には声掛けや指導を行っている。
	19 生徒	登下校や自転車に乗るとき、事故がないよう、安全に気を付けている。	96%	98%		98%	100%	96%	3.7	3.8		3.8	3.8	3.7	○部活動後の完全下校時刻を守ることや自転車の施錠の徹底を図っている。
	19 保護者	学校は、生徒の安全確保に努めている。	92%	92%		90%	91%	97%	3.2	3.2		3.2	3.3	3.3	○「止まれ」の標識での自転車の一時停止ができていないとの連絡があったため、全校生徒に啓発をした。
	19 地域	学校は、生徒の安全確保に努めている。	100%	100%					3.4	3.6					
	20 教師	部活動の重要性を認識し、たくましい心身の育成に努めている。	100%	100%					3.4	3.3					○今後も目標を持って部活動に取り組める生徒を育成したい。
	20 生徒	部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	95%	94%		89%	98%	94%	3.7	3.7		3.6	3.7	3.7	
	20 保護者	お子さんは、部活動に意欲的に参加している。(していた。)	90%	91%		93%	90%	88%	3.4	3.5		3.5	3.4	3.5	
	21 教師	家庭・地域・諸機関との連携を深め、積極的な生徒指導に努めている。	88%	94%					3.2	3.2					○生徒指導通信を発行し、学校の課題と指導の方向性を保護者や地域に発信した。
	21 保護者	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができています。	86%	88%		86%	93%	85%	3.1	3.2		3.1	3.2	3.2	○気になる事例があった際には、できるだけ早く保護者に連絡し、緊密な連携を図るよう心掛けた。
	21 地域	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができています。	100%	100%					3.3	3.2					
22 教師	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃を推進している。	82%	75%					3.1	3.0					○環境委員の呼び掛けなど、生徒会と連携した活動で生徒の意識はやや高まったのではないかと。	
22 生徒	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃に取り組んでいる。	87%	91%		85%	92%	96%	3.3	3.4		3.3	3.4	3.6	○6時間目終了後、すぐに清掃となるため、移動がやや遅く、取り掛かりが遅く感じられる。時間帯や方法など検討できればと思う。	
【総務】	23 教師	ICTを授業で積極的に活用し、協働的・探究的な学びを目指している。	94%	94%					3.3	3.3					ICTを活用した効果的な授業の在り方を今後も模索したい。
	24 教師	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないよう意識改革に努めている。	41%	38%					2.5	2.5					中学校統合業務や人員不足による時間外勤務の長時間化が常態化している。仕事の効率化を意識しつつ、仕事内容の精選も具体的に図りたい。